

県岐商 だより

No. 81

THE KEN-GI-SHO SENIOR-HIGH PRESS

○発行所 岐阜市則武新屋敷 岐阜県立岐阜商業高等学校PTA <http://www.kengisho.ed.jp/>

校外研修 2023.4.28



1年生 リトルワールド



2年生 名古屋港水族館



3年生 長島スパランド



「不撓不屈」

PTA会長 栗本 隆治

会員の皆様、令和五年度PTA会長を仰せつかりました栗本隆治です。新PTA役員の皆様と共に、この二年のPTA活動が更に発展し、活発なものとなりますよう努力してまいりますので、ご協力の程どうぞ宜しくお願い致します。

先日のPTA総会におきましては全議案にご信任いただきまして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

二〇一九年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界に広がり猛威を振るいました。その感染力は非常に強いもので未だ予断を許さない状況です。今年の五月八日より二類から五類へと引き下げられウイズコロナという言葉と共に日常生活を取り戻しつつありますが、現状は特に何か変わったわけではありません。新型コロナウイルス感染症に「かかっても大丈夫」ではなく「かからないことが大事」と言う事を念頭に置いて生活していただきたいと思えます。PTA活動におきましてもこの三年間は、ほとんどできていなかった活動を今年度は取り戻そうと計画しております。重ねて皆様のご協力をお願い致します。

「不撓不屈」言わずと知れた本校の校訓です。意味は「どんな困難に出会ってもひるまず、くじけず最後までやり遂げる事。」私も県立岐阜商業の卒業生で、当時は毎日のように聞かされ刷り込まれていたような言葉でした。私は中学の先輩に勧められるがまま男子ハンドボール部に入部しました。それが、私の地獄のような高校生活の始まりでした。当時の県岐阜商男子ハンドボール部は強豪で、私が入学する三年前には全国で準優勝する程でした。当然練習は大変厳しく、十数人いた同学年の部員も二年生に上がる頃には僅か5人になっていました。クラスメートから「よくあんな辛い練習に耐えられるな」と言われましたがそんな時は「不撓不屈やて」と返していました。なんとなくその言葉を拠り所にしてきた感じでした。厳しい練習に耐え、全国大会に二度出場できたのはこの言葉を胸に頑張れた結果だと思っています。数年ぶりに母校に帰って来て思う事がつ有ります。それは体育系、文科系、生産系を問わず本当にたくさん生徒が全国大会に出場する事。これは本当に凄い事で誇らしい事です。しかし、その陰で悔しい思いをした生徒もいるでしょう。結果が全てではありません。「不撓不屈」の精神を胸に一生懸命努力した事、くじけず頑張った事が、きっと大きな財産となるはずです。そして、保護者の皆さんは、そんなお子様を支えてあげてください。

今後も、PTA役員一同「不撓不屈」の精神で先生方、保護者の方々と一緒に子供たちのより良い高校生活の実現のために努めてまいります。引き続きご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

目次

「不撓不屈」(PTA会長).....1	各常任委員会報告.....4
「生徒諸君の成長」(校長).....2	校歌挨拶練習.....4
目的と目標(PTA副会長).....2	春季体育大会.....4
PTAの広場(各学年会員).....3	編集後記(研修活動委員長).....4
令和5年度PTA総会について.....4	



「生徒諸君の成長」

校長 村山 義広

今年度の4月に、岐商同窓会（凜心会）関西支部と関東支部の2支部において、本校を卒業し、地元を離れて、初めて一人暮らしをする卒業生たちを励ます会が開催され、同会に出席する機会がありました。会場には少し早く到着したので、着座していると、次々に卒業生諸君が現れるとともに、真っ先に近くに寄ってきて、「こんにちは!」と元気よく挨拶をしてくれます。その姿はすっかり大学生や専門学校生のおしゃれな風貌で、高校生の時とは違った様相でした。「しっかりご飯食べとる?」と尋ねると、「はい!ちゃんと食べてます。節約のためにも自炊してます」と・・・。「大学生活には慣れたか?」との問いに「まだ、東京の生活には慣れません」と・・・。「勉強は?」との問いに「はい、やってます!」と笑顔で・・・。そこには、何とも若者らしく、初々しい姿がありました。教師というよりは、保護者の気持ちになって卒業生と話をする自分がいました。同時に、既に高齢となられた大先輩OB・OGの方をはじめ、企業等の第一線で活躍されている多くの先輩諸氏から、後輩を元気づけ、彼らの将来の姿に期待し、激励の言葉をかけていただく姿に、本校の伝統と歴史、母校愛、後輩に期待する想いを強く感じました。一方で、卒業生諸君が一人ずつ自分の言葉で、現況と将来の自分の姿に対する強い想いを話してくれる姿に接し、実に心強く、微笑ましく、彼らの確かな成長を感じる瞬間でもありました。

本校の教育活動において、令和4年3月に策定したスクール・ポリシーの中の「育てたい生徒像」を、「ビジネスに関する確かな知識・技術を身に付け、将来、実際の経営活動の場面において、主体的に活躍できる能力基盤と素養を有し、地域経済の発展の担い手、次世代のビジネスリーダー養成」と位置付けています。本校のすべての教育活動を通じて、生徒諸君が高い目標と志をもって、果敢に取り組む姿勢を育みながら、確実なる伸長を目的に、私たち教職員は職務に従事したいと考えます。我々教員は、生徒諸君が在学中に生き生きと高校生活している姿、様々な困難を克服し、達成感や成就感を体感し喜ぶ姿、卒業後の社会人として確実に成長し、人に喜ばれる仕事をしている姿を垣間見るとともに、喜びを感じる時は、この職業に就いて本当に良かったと心から実感する瞬間です。これからも生徒諸君の笑顔表出、保護者の教育ニーズに応えられるよう尽力してまいります。

一方で、現在、教員の長時間労働が問題視されており、「働き方改革」による労働時間の是正が求められています。学校運営や授業準備、各種行事への対応に加え、放課後や土日にまで及ぶ部活動も大きな課題となっています。教員が授業や授業準備等に集中し、健康で生き生きと勤務し、教育の質を高められる環境を構築することも必要となります。本校としても、この主旨を踏まえ、取組んでまいります。何卒、保護者のご理解をいただきますようお願いいたします。



目的と目標

PTA副会長 川崎 裕文

令和5年度PTA副会長を務めさせていただきます川崎と申します。猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症も位置付けが5類に移行し大幅に行動制限が緩和されたことによって、ようやく平常の学校生活を取り戻すことができそうです。今まで以上に勉強や部活動等が活発に行われることになるでしょう。そうなれば、高い志を持つ県岐阜商の生徒諸君は全国制覇をはじめ大会優勝や資格取得など高い目標を掲げると思います。もちろん目標を持つことは大切なことであり必要なことでもあります。決して忘れてはならないのは「目的」です。

私も30年以上前は、甲子園出場を目標にしていた県岐阜商硬式野球部の生徒でした。今だからこその言えることは、目標の上に目的があり甲子園出場や優勝より大事なことは、人格形成いわゆる自分磨きが目的であったことです。今の自分があるのも当時の高校3年間で培わ

れた人格形成のお陰と言っても過言ではありません。努力し続ける大切さ、常に感謝を忘れない、やらせていただいていると思う謙虚さ、そして礼儀など部活動や学校生活で心底学ばせていただいたことが私の糧となっております。当時の体力や技量は、当然老いとともに朽ちていきますが、心に宿る人格は永遠に持ち続けることができます。

もし人格を器に例えるなら、穴だらけの器にどれだけ技量や知識を注いでも漏れてしまいますが、一つ一つ穴を塞ぎながらしっかりとした器を創り上げれば、技量も知識も溜めることができます。

人は誰もが表の顔と裏の顔を持っていますが、見られていない裏の顔が本当の自分の顔であると受け止めて3年間自分磨きに励んでもらいたいです。

目的を達成する為には、いくつもの困難を乗り越えることとなりますが、それを乗り越えた際は、きっと目標も掴んでいることでしょう。

岐商生になって

1年生会員 大江 哲郎

我が子が県立岐阜商業高校に入学し約一か月が経ちました。本人の生活が大きく変わったのはもちろんのこと、家族の生活も一変しました。母親の作る弁当の数が1つ増えました。息子の自転車通学も心配事の1つになりました。また部活動の活動時間が中学と比べて格段に長くなったため、健康面や学業との両立も心配です。幸いなことに我が子は毎日学校に通ってくれています。弁当も残さず食べて帰ってきます。行動範囲が広くなり、外出時間も長くなりました。い

よいよ親として彼について把握できることが少なくなってきたようです。知っておきたい気持ちはあるものの、自立への第一歩でもあると肯定的に考えています。自己責任が増え、自己決定の機会が増えるのは良いことのように思います。社会人になったらいつでも問われることだからです。「最悪のことだけは考えておく。」これが親としてできることであり、親に求められる覚悟なのかもしれません。

県立岐阜商業高校は全国屈指の伝統校であり、多くの著名人を輩出する名門です。校訓「不撓不屈」のもと、今なお日本全国にその名を轟かせています。我が子がそんな学校に入学できた今、誇りに思うと同時にその名を汚すわけにはいかないという気持ちがあります。ただ、一方で我が子が高校3年間を「不撓不屈」の精神のもと困難を乗り越えていけたら、名実ともに本物の岐商生になるはずだと期待もしています。がんばってほしいものです。

感謝

2年生会員 瀬戸口 裕美子

先日、息子が所属する空手道部のインターハイ予選が行われました。

これまで数多くの試合に出場させてもらい、他校との練習試合で経験を積み、どんな時でも部活に参加し、練習後には反省と目標を書き記し、それを基に技術を磨いて万全の態勢で挑んだ団体戦。皆の努力は報われることなく惜しくもインターハイの切符を手にすることはできませんでした。

閉会式終了後、迅速に着替えを済ませ、「各校の皆さんで協力して片付けましょう」と放送が流れる前から既に片付け始めている県岐商生。勝利に喜び合う他校の選手達を横目にしながら、悔しくていたたまれない気持

ちを押し殺して、不撓不屈の精神を奮い起こし黙々と当たり前のように自主的・主体的に行動する姿は素晴らしくとても誇らしいものでした。きっと厳しい学校生活の中で学び培われてきたものでしょう。

この1年を通して挨拶、礼儀、言葉遣いなど親では容易に教えることができないことを先輩方に教えていただき、顧問の先生方、監督、コーチの皆様より学ばせていただいていること、どんな時でも寄り添ってくれる仲間に出会えたことに感謝するばかりです。

悔しく辛い2年生のスタートとなりましたが、先輩方に支えられ、仲間と切磋琢磨しながら苦しい練習に励み、次なる目標に不撓不屈の精神で取り組んでくれると思います。

私も家族と共に息子が引退を迎える日まで、楽しみながら全力でサポートしていくつもりでいます。

本気でやれば夢は叶う

3年生会員 堀 雅人

「G!!F!!U!!岐阜商!!!」

大きな声と動きで選手を鼓舞する大盛り上がりのベンチとスタンド。岐阜県高校総体（IH岐阜県予選）団体決勝戦。1年生ルーキーペアがファイナルゲームのデュース。相手前衛のアプローチショットに審判がアウトのコールをした瞬間、県岐商ソフトテニス部女子が歓喜の渦に包まれました。

三年前、「日本一の夢を叶えたい」と双子の娘が高校進路を考え始めた頃は、全国上位常連の県外私学強豪校に進むのか？あるいは地元の高校で仲間達と一から日本一を目指すのか？迷いに迷い県岐商に進む事を決断しました。当時インターハイへ進む岐阜県のソフトテニス女子代表校は常連私学2校が取り合っており、まずそこに割って入り岐阜県代表校になれるのか？そして全国大会未経験の高校で本当に日本一を目指せるのか？という不安もありました。

「本気でやれば夢は叶う」よく聞く言葉ではありませんが、毎日部活後の自主練習やトレーニングに励む2人の姿や、県岐商全体の部活に取り組む気質、顧問の石井先生の熱意を目の当たりしたこの2年間は三年前の娘達の決断に間違いはなかったのだと実感します。

ハイスクールジャパンカップ3位、アゼリアカップ3位、全国高校選抜5位。県岐商が日本一に届きそうで届かない距離はまだありますが、今日の歓喜の中で抱き合う苦楽を共にしてきた仲間や後輩との笑顔を見ると、最後の全国大会北海道の地で、青い県岐商が本当に夢を叶えてしまうのではないかと思わずにはいられません。

PTA
の
広場

令和5年度PTA総会について

先般PTA総会が、会員497名(委任状572)の出席を得て無事に開催されました。皆様のご協力により令和4年度事業報告、令和4年度決算報告、会計監査報告、令和5年度役員の選出、名誉会長及び顧問の推薦、令和5年度事業計画、令和5年度予算案の7議案に承認をいただきました。

その後、PTA役員として本校の運営発展に大きく貢献いただき功績顕著で退任されました旧役員の皆様に感謝状と記念の品を贈らせていただきました。

PTA会長・副会長としてお勤めいただきました皆様には衷心より感謝申し上げます。



各常任委員会報告

— 生活指導委員会 —

- (1) 交通安全指導
場所: 本校周辺の交差点
① 7月11日(火)
② 12月12日(火)
- (2) 人権講和
日付: 11月9日(木)
会場: 本校体育館

— 進路指導委員会 —

- ◎大学見学会
日時: 6月16日(金)
見学先: 愛知淑徳大学
: 名城大学
※見学先での説明内容
大学(学部・学科)の概要、
求める人材像、入試制度、
卒業生の進路等

— 特別活動委員会 —

- ◎PTAバザー
10月26日(木) 岐商祭に
おいてPTAバザーを実施。
※場所は凜心会館前を予
定しています。
※提供する商品は只今検
討中です。お楽しみに。

— 研修活動委員会 —

- (1) 保健講話
期日未定
- (2) 救命救急講習会
期日未定
- (3) 県岐商だより
・第81号発行(6)
・第82号発行(12)
・第83号発行(3)

校歌挨拶練習

生徒指導部長 糸井 統

コロナ禍で止まっていた校歌挨拶練習を4年ぶりに開催することが出来ました。第1回目は4月18日～20日の3日間、第2回目は5月15日～16日と期間をあけて実施をいたしました。第1回目にはLOBOOKの歌詞を見ながらしか歌えなかった1年生が、第2回目までの間に部活動に加入し、各運動部部長にも協力を得て、部内での校歌・応援歌・挨拶の指導をしてもらいました。第2回目にはその成果が表れ、大きな声で歌えるようになりました。また、日頃の挨拶も大きくさわやかな挨拶ができるようになったと感じます。今後も各部署で大会時に歌の披露をして欲しいと思います。

本校生徒の気持ち良い挨拶は社会に出てからの大きな武器となります。今のうちに身体に染みこませ永遠に素晴らしい挨拶ができることを期待します。マスク越しでも笑顔の挨拶を届けよう。



春季体育大会

こちらも4年ぶりとなる、全学年揃っての春季体育大会。久しぶりに全校生徒の歓声がグラウンドに響き渡りました。



体育委員会・バレーボール部員の皆さんお疲れ様でした。

「県岐商だより」第81号をお読みいただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行され、3年余り続いた感染対策は平時の対応へ切り替わりました。それに伴い、様々な行事が遅れを取り戻すかのように活発になっていくことを考えますと、ワクワク感と少しの戸惑いが隣り合わせに存在するように感じます。子供たちには、今を楽しみ、素敵な思い出を作ってもらいたいです。当たり前にはできないことは当たり前ではなく、どれだけ大切であるかを知り、感謝し、喜びを分かち合う生活から次世代へ繋いでいって欲しいと願っています。皆様、子供たちの高校生活が良き日であるよう盛り立てていきましょう。

研修活動委員長

村木 みどり

編集

後記